

## 別紙 評価基準（プロポーザル方式）

評価項目	評価基準
<b>1. 企画関連の評価</b>	
事業内容の妥当性、独創性	【必須】事業の趣旨を理解し、仕様書の内容についてすべて提案しているか。
	・ 偏った内容の提案になっていないか。
	・ 仕様書に示した内容以外の独自の提案がされているか。
企画力、提案力	・ 佐賀牛や産地に対する良好なイメージを発信できる提案となっているか。
	・ 現地の方が興味を持つような視点での提案があるか。
	・ 実施項目・実施手法が明確であるか。
	・ 実施手法に事業成果を高めるための工夫が見られるか。
実施計画の妥当性、効率性	・ 手法、日程等に無理がなく、目的に沿った実現性はあるか。
	・ 事業成果の達成のために、日程、作業手順などが効率的であるか。
<b>2. 実施体制等の評価</b>	
類似業務の経験	【基礎点】過去、同様の業務を最低1回は実施しているか。
	・ 過去5年以内に台湾での広報業務を豊富に実施しているか。
組織としての業務実施能力	・ 事業が遂行可能な人員の確保がなされているか。
	・ 台湾での広報に関する幅広い知見・ネットワークを持っているか。
	・ 適切な財政基盤、経理処理能力を有しているか。
業務にあたっての管理、バックアップ体制	・ 広報業務及び台湾に関する知識・知見を持っているか。 ・ 業務責任者の経験や知見はあるか。
<b>3. 業務従事者の評価</b>	
類似業務の経験	・ 過去、同様の業務を豊富に実施しているか。
業務に関する知識・適格性	・ 業務を遂行する上で、十分な経験や知識があるか。
<b>4. 経費の妥当性</b>	
経費の妥当性	・ 見積の算出や経費の配分は適切か。

注意：必須項目の基礎点が1項目でも0点の場合、不合格とする。基礎点は0点又は満点となる。

※最低基準点：各審査員の合計得点が満点の6割に達していること